

# 「無心」で陶芸体験

東雲高3年

## マグカップに挑戦

篠山東雲高校3年の選  
択科目「里山文化」が8  
日、ささやまの森公園で  
あり、生徒7人が陶芸を  
体験した。同公園のボラ  
ンティアスタッフで、陶  
芸歴約20年の職人、  
さん（中原山）の指導  
のもと、思い思いの形を

したマグカップ作りに挑  
戦。地元根付き、里山  
の生活になくはならな  
い焼き物の文化に触れ  
た。

白土粘土を底面、側  
面、取っ手用に3等分に  
した。ろくろの上で粘土  
を押しつぶして作った底  
面の縁にひも状の粘土を  
1本ずつ積み上げ、側面

生徒たちは、時間がた  
つにつれて陶芸の世界に  
没入した。スープを入れ  
て飲みたいという生徒は  
底面を広めに成形。竹べ  
らで側面に軽くラインを  
刻み、デザイン性に富ん

だ作品に仕上げる生徒も  
いた。成形した作品は、さ  
ん宅の電気釜で焼成。9

月29日に2回目の陶芸体  
験を行い、絵付けをして  
完成させる。

君（篠山中出  
身）は「側面の曲線がき  
れいに来た。無心に  
なって作りました」と、  
額の汗をぬぐった。

同科目は、里山の文化  
を見直し、生徒たちの生  
活に生かしてもらおう  
と、同公園と連携し実施  
している。



マグカップの成形に集中する生徒＝丹波篠山市  
川原で

2021年9月16日

丹波新聞